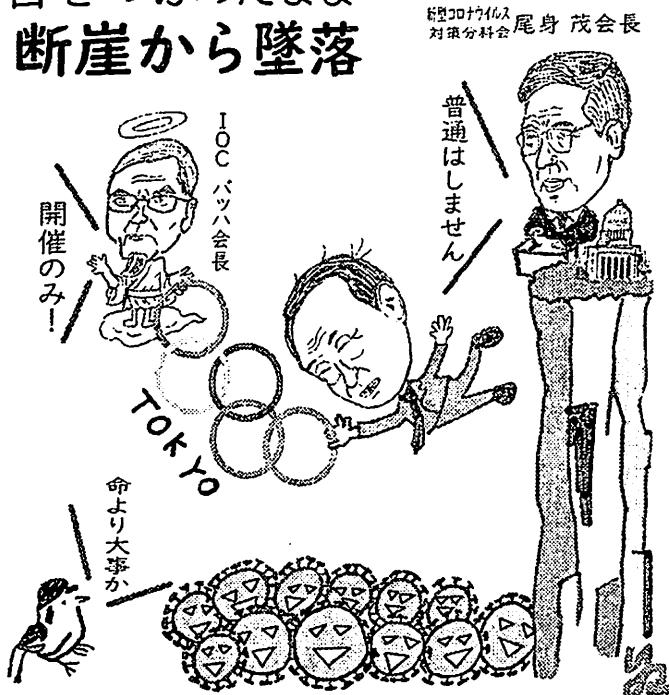


目をつぶったまま 断崖から墜落

亀井 洋示



コロナライズ 尾身 茂会長
対策分科会



No. 564 附録

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都

文京区湯島2-4-4

平和と労働センター・全労連会館

電話 03(5842)6461

FAX 03(5842)6462

E-mail chian@bz03.plala.or.jp

頒価 50円

兵庫版 No.447

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
兵庫県本部

〒650-0022 神戸市

中央区元町通6丁目6-12

山本ビル 団民救援会内

TEL(078)351-0677

FAX(078)371-7376

コロナ対策の無為無策と迷走、東京五輪の ごり押しを進める菅政権は「政府危機」に

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 兵庫県本部会長 岡 正信

IOCコート副会長は、緊急事態宣言が出されていても大会を開くかの質問に「答えは完全にイエスだ」、バッハ会長は「(東京五輪開催のために)誰もがいくらかの犠牲を払わなければならない」、最古参議員のディイツク・バウンド氏は「菅首相が中止を求めても、開催される」と発言。日本共産党の志位和夫委員長は記者会見で「常軌を逸した発言で断じて看過できない」「いったいIOCは何様か。日本を『IOC帝国の植民地』扱いする、主権侵害」と非難した。一方、東京五輪開催をめぐる政府対策分科会の尾身茂会長の「パンデミックの中、オリンピック開催するのは普通ではない」「開催するなら主催者であるIOCや政府に強い覚悟が必要」との発言に、田村憲久厚労相は「自主的な研究の成果の発言」と発言、丸川珠代五輪相は「全く別の地平から見てきた言葉を、そのまま言つても通じづらい」というのが私の実感」と発言。これに対して、北村義浩教授は「ウイルスを交換しあつて自国に戻るという懸念がある」と指摘した。

こうした中で、菅首相の「五輪で希望と勇気を世界に」の発言には、ネットで失笑が続出。背景に、コロナ危機のもとで、国民には行動制限、営業制限を求める、補償も医療補償も不十分なまま五輪開催だけを強行する姿勢に内外から批判が。「読売」世論調査では内閣支持率37%と昨年発足時の74%から半減し最低に。自民党幹部からは「政権よたよた」。五輪は往くも地獄、引くも地獄」と「政府危機」の様相。必ず、兵庫県知事選、都議選、総選挙で決着をつけ、2021年を「歴史に刻む年」に。

貫名初子さん(102歳)が逝去されました



さる2021年5月2日、貫名初子さんが102歳で死去されました。貫名初子さんは1971年、灘区から神戸市会議員に当選、以後52歳から68歳まで4期16年間神戸市議を務めました。治安維持法国賠同盟に早くから入会し、A A L A連帯委員会兵庫県会長を最後まで務めました。また消費税をなくす会、NHK問題を考える会など幅広く活躍されました。ご冥福をお祈りいたします。

ジェンダー

私の思い—
リレートーク

声上げ続ける ジェンダー平等を隅々に

ジェンダーを語るときは、まず歴史から学びたいと思います。

世界経済フォーラムが公表した男女格差レポートによると、日本は世界で最も大きい国の一つとされています。

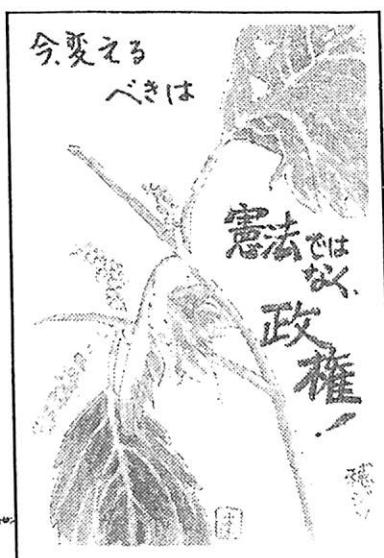
日本の男女格差は時々の権力が、国民を支配・抑圧するためには政治的に押し付けたものです。

1898(明治21年)7月に施行された「明治民法」には男尊女卑の規定、男女不平等の規定があり、妻の無能力者制度(明治民法第18条)。女性は結婚すると、法律上無能力者とされ、一定の重要な法律行為をするには、夫の許可を得ることが必要でした。

歴史は、如何に日本の女性達が幾多の苦難の人生を歩まざるを得なかつたか。

ジェンダー平等を求めるたたかいは、私達を支配・抑圧する政治を変えるたたかいもあります。

小松美紀江



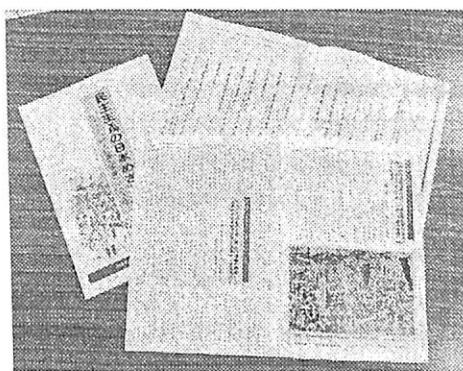
先月12日の国会請願行動に、加古川支部は昨年よりも30筆増の434筆の請願署名を届けることができました。今回の署名活動は、昨年8月の「平和のための戦争展」、11月の加西での憲法集会、他団体総会での訴えなどで約100筆、会員個人からの署名をあわせて、2月末の到達は約190筆でした。支部役員会は、緊急事態宣言再発令のもと1月、2月はメールや電話・FAXでの交流、意見交換を推進。緊急事態宣言解除後の3月6日に、今組みを強めること等を意思統一。役員会以降、5団体を訪問し、請願署名への賛同を取り組みをしていただけるよう申し入れました。

会員個人の結びつきを活かした署名活動も力になりました。県本部のよびかけに応え、8人の会員が集めた署名を郵便で届けました。

支部のこれまでの団体訪問の取り組みでは、多いときは10をこえる団体から協力をえています。今年の署名目標は1000筆。引き続き、これらの取り組みを広げ強めていきたい。

(津高久志)

民主主義の日本めざして 川崎・三菱大争議100年



「兵庫民報」の連載が
パンフレットに
なりました

「兵庫民報」紙上で16回連載が完結。この度パンフレットとして出版されました。
B5判・28ページで、価格100円。

「兵庫県国賠同盟」会員には無料でお届けします。国賠同盟への「入会のすすめ」も掲載しています。注文は、県本部までご連絡ください。

コロナ禍での署名活動について

加古川支部

日本最初の女性演説会 15

朝倉はじめ



神戸普選期成同盟会主催の演説会を報じる新聞記事
(神戸又新日報、大正8年2月17日付)

ハルが、1円50銭の金を貸し豆腐屋の仕事を再開、キリスト者となり、以後8年間、与三五郎は、この福音宣伝に参加している。心の入れ替わった彼に友愛い女子を授かる。キリスト教の布教も熱心に行い、先の演説会でも演説をするまでに。ハルの援助と彼の半生が、この物語につづられている。

山川出版社『兵庫県の歴史』の「デモクラシーから戦争へ」の項に1919年2月、神戸普選期成同盟会主催・「憲政の神様」尾崎行雄を招いた大演説会開催の記述がある。

『主催団体には労働組合である友愛会神戸ル著1919年5月出版『貧民

尾崎が登壇』(一部省略)

「豆腐屋はしているが普通選挙を期する心は骸骨になつても溶けぬ」と熱弁をふるい、最後に

元々暮らし豊かな家に生まれたが10代から放蕩を尽くし、豆腐屋植田も居た。

2010年、私が『国賠同盟』に入つて間もない時、宝塚の松下修治元市議から、窪田弘道さんも亡くなられた後、娘翠(みどり)さんも亡くなられ、お家の整理をするので資料を見てほしいと藤本護さんに要請があり、私が空き家となつた窪田家へ赴くことに。

弘道さんは、戦前「新興教育運動」を理由に治安維持法で検挙され、戦後兵庫の教員組合を再建するが、レッドページで教員を追放された。全日自労(失業者を組織し全国で20万人をこえたユニークな労働組合)を宝塚で組織し、宝塚市長選にも立候補。宝塚での民主運動の重鎮であった。翠さんは、神戸女学院を卒業し、福崎高校で音楽の教員をされていた。

賀川ハルと窪田愛子・弘道①

窟物語』に主人公として登場する。

90年後、宝塚で植田与三郎さんと遭遇

音宣伝である。毎晩、酒屋の前で「神は愛なり」の提灯を持ち、賀川豊彦に付き添う中に36歳の豆腐屋植田も居た。

この窪田さんのことを、今から10年ほど前に、意外なことで、知ることになる。